



# C型肝炎の新しい治療薬

市立甲府病院…☎(244) 1111

## C型肝炎とは

C型慢性肝炎は、感染している人の血液や体液を介してC型肝炎ウイルス(HCV)に感染することにより起こる肝臓の病気です。HCVに感染すると1~3か月の潜伏期を経て、急性肝炎を発症し、約70%の方が持続感染して慢性肝炎の状態になります。

しかし、HCVに感染しても自覚症状がないことも多いため、感染していることに気づいていない方や、自覚症状があっても医療機関を受診されていない方が多いのが現状です。慢性肝炎の状態から20~30年経つと、高い確率で肝硬変になってしまい、さらにそのうち約7%の方が肝がんへと進行すると言われています。

日本の肝がん患者の約70%はHCV感染者であり、年間約3万人の方が肝がんにより亡くなっています。

## これまでの治療薬

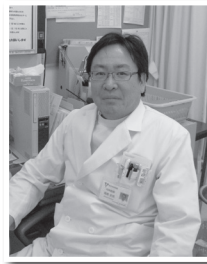
昨年までは、インターフェロン(IFN)がC型慢性肝炎の治療に用いられる唯一の特効薬でした。1992年から始まったIFN治療は、年々改良が重ねられ、初期のころに比べると副作用も減弱し、治療効果も著しく上がりました。しかし、IFN治療はウイルスや宿主(人間)の遺伝子タイプにより治療効果が異なるとともに、ほかの病気を合併していると接種できないことや、週1回は通院しなければならないなどの課題もありました。

## 新しい治療薬

昨年9月からは、IFNを使わずに2種類の飲み薬を半年間服用するだけで済む治療が始まり、以前の治療法に比べ高い確率でHCVを駆除できると考えられています。また、IFNほど大きな副作用が出ることは少なく、飲み薬なので患者さんの負担が軽くなります。

話だけ聞くと夢のような話ですが、現時点ではすべての患者さんに効果があるというわけではなく、HCVのタイプや患者さんの肝機能などにより、使用できないこともあります。また、特定の遺伝子変異のあるHCVでは治療効果が弱くなる可能性もあるので、詳しくは当院の専門医や、お近くの肝臓専門医(日本肝臓学会のホームページから検索することができます【[http://www.jsh.or.jp/medical/specialists/specialists\\_list](http://www.jsh.or.jp/medical/specialists/specialists_list)】)にご相談ください。

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは血液検査で分かります。一度も検査を受けたことがない方は、市で行う肝炎ウイルス検診(40歳以上・無料)や保健所で検査を受けることができます。



市立甲府病院消化器内科  
雨宮史武ドクター

平成12年山梨医科大(現山梨大)卒。山梨大学医学部附属病院などを経て、平成23年から市立甲府病院勤務。現在当院消化器内科科長。日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医

## ★★★自治会通信★★★

甲府駅の北西に位置する朝日地区では、明るく豊かな人づくりを目指し、地域ふれあい事業として例年11月3日(文化の日)に、「歩け歩け大会」を「自治会連合会」や「21世紀のまちづくり協議会」を始めとした多くの団体のご協力をいただきながら開催しています。秋空のもと、見事に色づいた紅葉を眺め、おしゃべりをしながら目的地に向かって歩を進めます。全長約8kmの道のりは上り坂の連続で決して楽な行程ではありませんが、今までに事故もなく、一人の落伍者も出さず無事に開催してきました。

小学生から80歳代までの200人の参加者が、朝日小学校の正門を出発します。和田峠を通り、途中鳥獣センターで小休止の後、終点の千代田湖畔にある堂の山青少年キャンプ場を目指して、自治会連合会旗のもと秩序良くウォーキングを楽しんでいます。



▲「歩け歩け大会」の様子

## 21世紀のまちづくり

大会開催前までに会議を数回開き、「安全確保のための交通指導員の配置」、「お弁当の手配」、「記念品(イベント名入りボールペン)の手配」など、役割を決めて実行しています。

主催者としてとても嬉しいことは、到着後の皆さんがお弁当や、女性の皆さんが気持ちを込めて炊きだした豚汁を美味しく食べている姿を見たときです。食事の後は集合写真を撮影し、「また来年も歩こうね」と約束を交わして家路につきます。



▲平成26年度の大会参加者の記念撮影

■朝日地区自治会連合会長 服田 尚隆

市立甲府病院…☎(244) 1111

自治会は地元で助け合い、協力して地域が良くなる活動をしています。ぜひ、自治会に加入しましょう！  
入会などのお問い合わせは、『市自治会連合会事務局☎(235) 1168』まで